

シラバス参照

④ 科目区分	展開講義
④ 科目名	国際政治経済論
④ 曜日・講時	前期 木曜日 2講時 その他
④ 単位数	2
④ 担当教員	岡部 恭宜
④ 実務・実践的授業 ※○は、実務・実践的授業であることを示す。	
④ 授業形態	講義
④ 週間授業回数	1回毎週
④ 配当学年	3,4年
④ 対象学年	3,4年次対象
④ 科目ナンバリング	-J
④ 使用言語	日本語
④ 備考	

④ 実施方法 (対面・リアルタイム・オンデマンド・ハイブリッド等)	Google Classroomによるオンデマンド講義とリアルタイム講義
④ 連絡方法とクラスコード	クラスコード: r7hknj4 Meet: https://meet.google.com/dhd-czgg-hax
④ 初回授業日等	4月14日(木)
④ 授業題目	国際ボランティア論
④ 授業の目的と概要	<p>この授業では国際ボランティアを取り上げ、政治経済学だけでなく、社会学、人類学など隣接の学問のアプローチも取り入れて講義します。国際ボランティアはそれ自体意義のある活動ですが、さらに開発協力、人材育成、グローバル市民社会にも関係しており、学問的にも興味深い研究対象です。</p> <p>開発協力の面では、途上国において貧困、感染症、環境、災害・復興など国家や市場では必ずしも解決できない問題が山積する現在、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に対してボランティアが果たせる役割に関心が集まっています。</p> <p>また、援助の専門家ではないボランティアが自発的な働きかけを現地社会で行い挫折や失敗を含む様々な経験をする中で、ボランティア自身の課題対処能力が向上したり、価値観の変化が起こったり、異文化への適応力が高まったりする結果、グローバル人材の育成が期待できます。さらに、ボランティア活動において途上国の人々と結んだネットワークや信頼関係はソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の形成に寄与して、グローバルな市民社会の醸成に効果があるかもしれません。</p> <p>授業では、国際ボランティアがもたらすこれらの変化について検討します。事例としては主に日本の青年海外協力隊(以下、協力隊)を取り上げます。</p> <p>This course deals with international voluntary service (IVS) from perspectives of political economy as well as sociology and anthropology. Selected topics will include the history of IVS, volunteers' role for economic and social development, motivation of volunteers, and organizations of IVS such as Japan Overseas Cooperation Volunteers (JOCV).</p>
④ 学修の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 国際ボランティアの理念、制度、組織、活動、個人の行動や動機について学び、知識を深めます。 ② 国際ボランティア、とくに青年海外協力隊の歴史、制度、運営、活動について理解を深め、その意義や成果を考察します。 ③ 開発援助、国際政治、グローバル市民社会のあり方について、考察する力を養います。
④ 授業内容・方法と進度予定	<p>【実施方法】 授業は講義と議論で構成します。講義は基本的にオンデマンドで配信し、議論はMeetを使って授業時間にリアルタイムで行います。議論の回では、事前に提示した問題についての意見交換や講義内容に関する質疑応答を行うとともに、小テストも実施します。詳しくは初回の授業で説明します。</p> <p>なお、感染症の状況および受講者の人数次第では実施方法を変更する可能性があります。</p> <p>【内容と進度予定】 実際の進度は講演会の日程やその他の事情により変更があり得ます。</p> <p>第1回 授業案内 第2回 国際ボランティアとは何か 第3回 国際ボランティアの活動—青年海外協力隊の事例 第4回 議論 第5回 途上国の経済開発・社会開発 第6回 開発協力</p>

	第7回 議論 第8回 国際ボランティアの人物像 第9回 開発協力の理由 第10回 議論 第11回 キャパシティ・ディベロプメント 第12回 ソーシャル・キャピタル 第13回 議論 第14回 国際ボランティア経験者による講演会・議論(便宜上第14回と記しているが実際の日程は未定) 第15回 総括と試験
成績評価方法	小テスト30%(10%×3回)、講演会のレポート10%、学期末試験45%、議論(リアルタイム)での発言等15%、の予定。
教科書および参考書	参考書として、岡部恭直編『青年海外協力隊は何をもたらしたか―開発協力とグローバル人材育成50年の成果』(ミネルヴァ書房、2018年)を使用する。
授業時間外学修	毎回の授業では、事前に指定した文献を各自で読んで予習していただくことが求められます。予習文献のPDFはGoogle Classroomに掲載します。
その他	2020年度、2021年度から授業方法を変更しているので注意すること。 初回に授業案内を行います。Google Meetを使ってリアルタイムで行うので、履修希望者は必ず参加して下さい。
更新日付	2022/03/27 23:49
	1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。 One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical training, and practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.